

テーマ: 高等技術校等における産業人材育成のあり方

1 高等技術校の役割

地域産業の人材ニーズや職業訓練ニーズをきめ細かく把握しつつ、これに対応した職業訓練を行うなど、地域の実情に応じた職業能力開発を推進する役割を担い、県としての産業振興施策等と一体となって、雇用の創出や安定に向けた取り組みを推進すること。

2 島根県立高等技術校再編整備計画(平成20年3月策定)

現在、県下4校(松江、出雲、浜田、益田)の高等技術校を時代のニーズに対応した高等技術校として東部校(出雲)・西部校(益田)2校に再編。平成23年4月開校。

(1) 高等技術校再編整備の方向性

① 県内産業振興に資する産業界のニーズに即した訓練等の実施

県内の産業振興に資する人材の育成を図るため、特に求められる分野の訓練科の新設。設置にあたっては、企業のニーズを十分に把握し、訓練内容に反映させるとともに、入校生の確保と就職が円滑に進むよう、高等学校等及び産業界との連携を密にする。

② 効率的・効果的な訓練の実施

多様化する企業ニーズや労働者の就業意識に対応した職業訓練を効率・効果的に実施するために、雇用・能力開発機構や民間教育訓練機関と役割分担しながら連携して人材育成を図る。

(2) 設置訓練科

<東部高等技術校>

訓練科名	訓練目的	対象者	定員
ものづくり機械加工科[新設]	旋盤・フライス盤等オペレーター養成	高卒	1年・10名
美容科	美容師養成	高卒	2年・40名
自動車工学科	自動車整備士養成	高卒	2年・30名
住環境・土木科	土木・管工事施工管理技士養成	高卒	2年・20名
Webデザイン科	ホームページ作成・印刷技術者養成	高卒	1年・10名
建築科	木造建築技能者養成	中卒以上	1年・15名
ハウスアート科	建築仕上げ技能者養成	中卒以上	1年・10名
理容科(*H23年度末廃科)	理容師養成	高卒	2年・20名
計	—	—	8科・155名

介護サービス科	ホームヘルパー養成	障がい者	1年・10名
---------	-----------	------	--------

<西部高等技術校>

訓練科名	訓練目的	対象者	定員
機械加工・溶接科[新設]	旋盤等オペレーター・溶接技能者養成	離転職	1年・10名
OAシステム科	情報処理技術者養成	高卒	1年・10名
建築科	木造建築技能者養成	中卒以上	1年・10名
事務ワーク科	事務員養成	離転職	6月・20名
計	—	—	4科・50名

総合実務科	ビジネスマナー等習得	障がい者	検討中
-------	------------	------	-----

※上記訓練科の他、下記の事業を実施予定。

◇離職者向け委託訓練

再就職に向けた介護・IT 分野等の訓練を、民間教育訓練機関に委託して実施。

(H21 実績)45コース、入校者726名、就職率77.1%(22年3月末時点)

(H22 計画)55コース、定員856名

◇在職者訓練

企業の従業員の能力向上を図る訓練を実施。

- ・雇用調整助成金活用企業向け教育訓練(改善、品質管理等)【H21 実績:受講者 18044 名】
- ・内定者・新入社員研修(接遇、目標管理、チームワーク向上等)【H21 実績:受講者 386 名】
- ・企業のニーズに応じた能力開発セミナー(技能検定対策講座等)【H21 実績:受講者 586 名】

3 課題及び対応策

(1)産学官の連携

高等技術校、高校、地域の企業等との連携を図る必要がある。

産業界のニーズに応じた地域の人材育成の拠点として企業の牽引役を果たす必要性。

→ 関係機関参画の協議会の設置

(2)企業との連携

企業との連携を図り産業界のニーズを把握しつつ、より効果的な職業訓練を行うことが必要。

→ インターンシップの実施、賛助会の設立等

(3)外部人材の活用

民間の高度技術者等の外部人材を活用し、産業界のニーズに応じた職業訓練を行うことが必要。

→ 特級技能者・企業 OB の招聘、民間技能養成施設の人材養成ノウハウの導入

(4)雇用・能力開発機構や民間教育訓練機関との連携

ポリテクカレッジとの連携を図りながら効率的・効果的な職業訓練を行うことが必要。

→ 教員相互の派遣、施設の相互利用等

4 今後の検討課題

(1)効果的なインターンシップとするためにはどのようにしたらよいか

(2)産業界のニーズに応じた訓練を実施するため、外部人材をどのように活用したらよいか

(3)ポリテクカレッジとの連携についてどのようにしたらよいか

(参考資料)

●県立高等技術校の入校・就職状況(施設内・学卒者対象訓練)

	定員	応募	入校	中退	中退就職	修了	就職	就職率
H18 修了	155	229	135	16	3	119	109	91.8%
H19 修了	155	205	134	20	6	114	101	89.2%
H20 修了	155	153	113	11	1	102	94	92.2%
H21 修了	165	211	136	20	11	115	93	82.5%
H22 入校	125	135	94	-	-	-	-	-

(注)就職状況は、修了後6か月経過時点の値。ただし、H21 修了生は修了時点の値。

●ポリテクカレッジ島根の主な事業内容

※厚生労働省所管の独立行政法人雇用・能力開発機構が江津市に設置・運営。

(1) 専門課程…主に高卒生を対象とした2年間の課程。定員は各科20名。

訓練科名	訓練目的	対象者	定員
生産技術科	機械加工、機械工学、設計・製図等	高卒	2年・20名
電子情報技術科	電子制御、組み込みソフトウェア開発等	高卒	2年・20名
住宅環境科	住宅の企画・設計・施工、環境調和等	高卒	2年・20名

(入校・就職状況)

入学 年次	入校者		就職者		摘要
	県内	県外	県内	県外	
H19	35	17	18	17	制御技術科、情報技術科、住居環境科の3科 入校者のうち17名は進学等
H20	51	14	29	16	入校生のうち20名は進学・就職活動中等
H21	30	22	-	-	生産技術科、電子情報技術科、住居環境科の3科
H22	52	7	-	-	

(2) 離職者訓練…生産電気制御技術科、生産システム技術科、住宅リフォーム科の3科。
訓練期間は6か月、定員は各科22名。(H21実績)応募者数58名、入校者数55名

(3) ポリテクカレッジと地元との関わり事例

能力開発セミナー	企業の従業員を対象に、機械加工や制御、建築技術等の高度な訓練を実施。(H21実績)21コース、受講者151名
ものづくり担い手育成事業(H21～、国事業)	江津市内の技術者・離職者を対象に、金属加工やシーケンス制御、工場内LAN活用等の技術指導を実施
企業の課題解決支援	・岩本ダイス工業:治具高精度化に向けた支援 ・ダイワラジエーター:PLC装置の問題解決支援 等
工業高校への支援	技能検定に向けた実技研修の実施 江津工高:建築大工、益田翔陽高:機械保全
学生と地元とのつながり(学生の課題研究)	江津市立図書館設計の提案、原爆被爆者有福温泉療養研究所と連携した利用状況管理システムの制作
高等技術校との連携	ポリテクカレッジ指導員による企業の従業員向け研修(PLC研修)を出雲高等技術校にて実施